

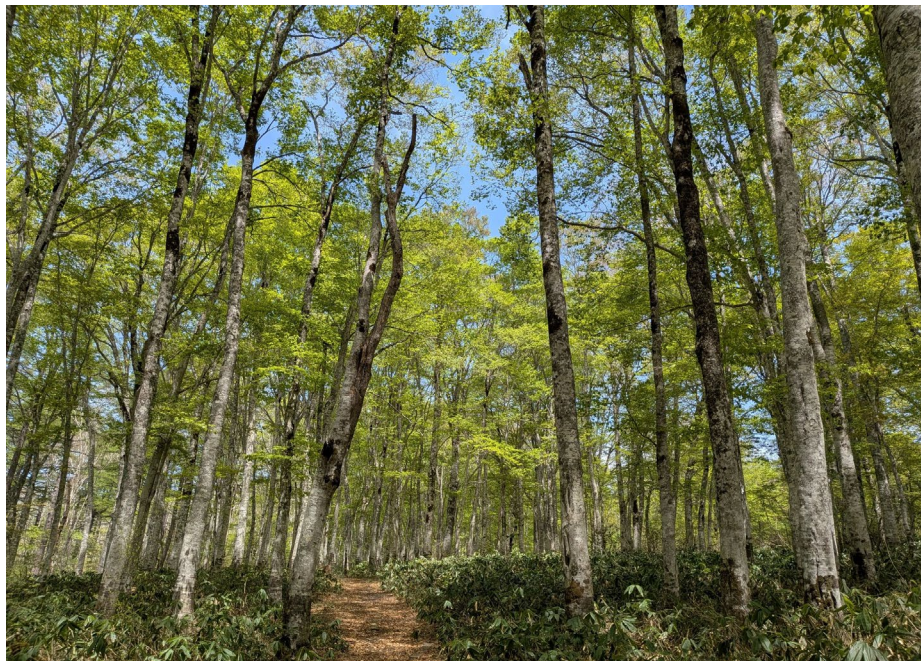
2026
夏号



特定非営利活動法人

やまぼうし自然学校 ニュースレター

一きのう、今日、あした。自然とともに生きる暮らし方を見つめていきますー



『新事業スタート！カヤの平でお待ちしています。』



・ * * * * * **がみちゃんのひとりごと？** * * * * *

代表理事 かがみ きよ
加々美 貴代

人と森をつなぐ、新しい「森業」

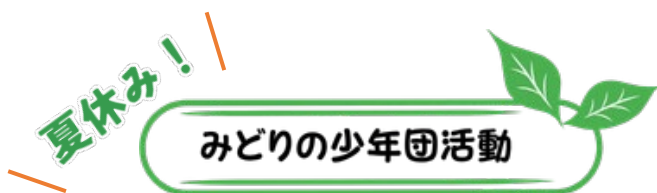
「地方みらい共創戦略」で定義された「森業」という言葉をご存じですか。森林環境教育やイベントなど、私たちの活動もその一つです。やまぼうし自然学校は25年間、途切れつつある人と森との関係をつなぎ直してきました。かつて里山は、薪や山菜などの恵みをもたらし、人の声が響くにぎやかな場所でした。森が暮らしから遠くなった今だからこそ、意識して森とかかわる時間ときっかけをつくりたい。人がかかわることで豊かになる森、森とかかわることで豊かになる暮らし。仲間とともに森を再びにぎやかにする、新たな「森業」の時代が始まっています。

NPO 法人 やまぼうし自然学校 とは



長野県菅平高原に本部をおき、「森とつながり、森とともに生きることを
できる人を育てる」をミッションとして、体験学習・キャンプ・指導者養
成・森林整備ボランティアなど、人と森、人と人とをつなげる活動をして
いる NPO 法人です。1995 年に発足し、2000 年には長野県内で環境系第
一号の NPO 法人として認証されました。

長野本校と東京支部で、“森でつながるいのちのわ”を広げています。



文：保母裕美

みどりの少年団は、次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育て
る活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくこと
を目的とした団体です。小学校単位や地域の団体などが通年で活動しています。長野
県内の地域振興局ごとの主催で、団員が集まる交流集会在夏休みを利用して毎年開催
されています。今年は長野地域は峰の原高原、上小地域は菅平高原、佐久地域は野辺
山高原でアイスブレイクゲーム（写真左）や森林体験プログラムを小学生の皆さんと
楽しみながら交流を深めました。また全県の小学生と家族を対象とした長野県緑の少
年団連盟主催の交流集会在塩尻市の長野県林業総合センターで行われ、やまぼうしは
森のセンスオブワンダー探しを担当しました。午後の森の音楽会では、民族楽器を奏
でるあやこ村長と子どもたちの音楽ワークショップで皆が森と音に包まれました（写
真右）。夏休みに森で過ごした思い出が、未来の森林につながりますように。



カヤの平新事業の紹介 会員 池田好見さん

今季木島平村カヤノ平の指定管理事業をやまぼうしが受注したことは皆さんご存じの事と思います。5月の小屋明け、林道の開通により、皆さんのご協力のもと30周年に向け第3の事業に育てるべく活動が始まりました。業務としては、案内所とオート、林間キャンプ場の運営、ロッジの運営となっています。

キャンプ場は6月から受け入れが始まりましたが、ロッジは、今までのやまぼうしの事業とは異なり消防、保健所等の許可が下り宿泊を受け入れできたのが7月の初めでした。夏休みの始まりからお盆過ぎまでのピークをかうじて乗り切ったところです。研修したインプリの皆さんの出動も始まりました。更に多くのインプリ出動が期待されています。

満天の星、そしてロッジの裏には美しいブナの極相林が待っています。豊かであり、そこで繰り広げられる様々な命の物語との出会いに是非訪れてください。

◇池田さんのプロフィール

佐久市出身、在住。子供の頃の遊びはいつも外。遊び方は毎日自分たちで考え沢山のわくわくとドキドキと不思議と美しさとニコニコと緊張と痛さと怖さと勇気と決断に出会いながら楽しい毎日を過ごした。選択科目の生態学でその面白さに会う。25年前にやまぼうしに会い、命を見つめながら野を彷徨う。(はぜ掛けの有機米とオーガニックコットンも作っています。)



ぶなの森カヤの平高原
キャンプ場 HP

「村上山軽登山 中学 1 年生」

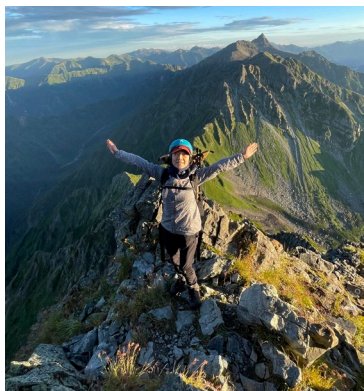
2026 年 7 月 28 日実施

3 日間の体験学習の最終日。28 日はコース別の選択制プログラム。私はリーダーの萩野さんと村上山軽登山（群馬県嬬恋村）を 30 名の生徒さんと歩きました。

最終日のテーマは SDG s 「豊かな自然を守ろう」です。登山口から少し歩くとカラマツのモデル林が現れます。横 1 列に並んでいるカラマツの下には低木や笹が生い茂り、生徒たちは「緑が綺麗！空気がおいしい！これは軽登山じゃなくて重登山だよー」と森の豊かさを感じながら山頂へ。天気予報通り雨が降り始め、休暇村まで後少しのところまで豪雨になりましたが、皆弱音を吐くこともなく下山することができ安心しました。

振り返りの時間はグループでの対話、全体での共有と感想を伝え合いました。「豊かな森を守るために、ゴミの分別をしたい。」「3 日間を漢字一文字で例えると『自』です。」自然、自分、自主、自立、自由…自ら森と関わろうとする姿、嬉しい姿でした。

最後に萩野さんから森林認証制度の FSC についてお話いただき、さらに課題を広げていただきました。



◇山田さんのプロフィール

長野市出身。岡谷市在住ですが長野市との 2 拠点生活。趣味は登山、バレーボール、手仕事、畑仕事。山育ちが私の原体験。自然の中で子どもと関わる仕事がしたいと思っていたところ、やまぼうしさんに出会うことができました。子どもたちと一緒に遊んだり、発見したり、気づいたり、感動したり、そんなインプリでありたいと思います。

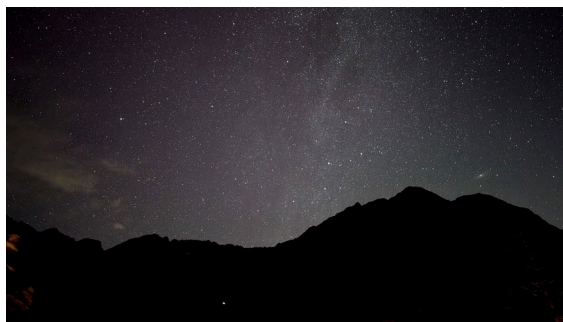
上高地 白樺自然学校

文：会員 柏木 明

8月12日前後は毎年恒例ペルセウス座流星群の天体ショー。特に今年は新月と重なり、条件さえよければ1時間に数十個の流星が見られるビッグイベント。にわか天文ファンにとってもまたとないチャンス。そんな期待を抱きながらのナイトガイド、その後の河童橋での一般ウオッチャーとの交流となった。

さて、台風一過の夜空に満天の星を期待するも、思い通りに事は進まず。「残念だったでSHOW」と頭をよぎる中、雲の切れ間から夏の星空が顔を見せ始めると、天の川、そして儚きながらも一瞬の輝きを放つ流れ星を幾つともなく瞬に焼きつけることができた。

「オー！」という歓声とともにたくさんの人たちとの感動を共有できた瞬間であった。



上高地白樺
ネイチャーガイド

詳細は
ホームページから▼



笑顔いっぱい！思い出いっぱい！サマーキャンプ

今年も長野県観光機構が主催するサマーキャンプ in 信州が開催されました。やまぼうしが担当する菅平高原プランでは「初めてのキャンプ！」をテーマに全3コースを実施し、70名を超える子どもたちが参加してくれました。森遊びや窯焼きピザづくり、テント泊などはじめてのことにたくさん挑戦しました。「来年も来るね」「帰りたくないな」と少し遅くなった姿が印象的でした。

さらに！今年は主催キャンプ SUGADAIRA FOREST CAMP も開催しました。唐沢の滝での沢遊びやマイギリ式火おこしからのピザづくりなど、ちょっとワイルドなプログラム構成。普段のキャンプではなかなか味わえない、ひと味違った体験となりました。



やまぼうし自然学校 森でモリモリ遊び隊

なつ
夏

1年を通して月に1回森で遊ぶ、やまぼうし主催事業です。

地元の様々な小学校から集まった子ども達が、
学年の壁を越え、親からも離れて、森と一緒に遊びます！



第3回「遊び隊キャンプ」

待ちに待ったキャンプがやってきました！テント泊、野外料理にドラム缶風呂。夜は実行委員会が中心となって計画をたてて楽しみました。しなのきコースはキャンプファイヤー、からまつコースは生憎の雨にも負けず、室内でのゲーム大会で大盛り上がり♪コースごとにぐっとチームワークが増した二日間でした。



第4回 「ダボスの丘ハイキング&草花遊び」

貴重な草原が残る菅平高原。ダボスの丘に登り、広大な草原を思いっきり走り回ってきました。干し草は集めればベッドにもこたつにもなります。凧やブーメランを飛ばすのにはワザが必要です。段ボールのそりで斜面を滑り降りるのは爽快かつスリル満点！

各回のブログはこちらから▶



やまぼうし秋の講座・イベントのご案内

【 短期集中講座 】

やまぼうし自然学校インタープリターとしての活動や、地域での森林ボランティア活動等に繋げるため、即戦力スキルを身に付ける全7回コース！スローフードやクラフト、自然観察系のアクティビティを体験しながら、森の魅力を伝える指導力を磨きます。

【日時】各回 10:00～15:00

10/3、17、24、25、31、11/1、11/8

【参加費】全7回：10,000円（単回：2,000円）



詳しくはコチラ▼



【 大人の森遊び 】

自然の中でのんびりリフレッシュ♪
大人たちだけの森の時間です。

【時 間】9:30～14:30

【参加費】3,500円 ★昼食つき

10/18(日) キノコ採り＆野点

【場 所】真田地域

11/7(土) 角間溪谷紅葉森林浴

【場 所】真田地域

詳しくはコチラ▼



2026年 夏（6～8月）の事業実績

【 体験学習 】

6月7校、7月21校

【 講座 】

森の教室、森を楽しむ講座

アシスタント研修会

【 イベント・自然体験 】

森でモリモリ遊び隊③④

大人の森遊び2回・森あちよび3回

【 上高地白樺自然学校ツアー 】

6月24件・7月39件・8月31件

詳しい事業実績はこちらから→



・ * 編集後記 * ・

春号にも登場し、事務所のスターだった大きいもりあおちゃん。7月中旬に空へと旅立ちました。今までありがとう。一匹残された小さいもりあおちゃんの背中が寂しそうです。菅平の短くも賑やかな夏が終わり、足早に季節が巡っていきます。体験学習、イベント、そして自然の恵みがいっぱいの秋。引き続き皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思えます。（大友）

～やまぼうしスタッフよりひとこと～



保母 裕美（ほぼちゃん）

夏休み子どもたちと上田市市民の森でせみの抜け殻調査に参加しました。今年は驚くほどの抜け殻数で種類も過去最多。猛暑は虫天国になるのか?!



小菅 彩（こあちゃん）

気密性の高い家は外の音があまり聞こえない。カエルの合唱や虫のオーケストラを子守歌にできるようにエアコンをつけていても窓は少し開けて寝たい。



平林 丈嗣（ひらりん）

アゲハモドキに出会った初夏。サイカチムシやクワガタを愛でた真夏。蝉時雨を浴びた晩夏。一気に過ぎた悲喜交々。秋には何があるのか楽しみ。



茂木 香葉（このっち）

企画したイベント参加者の子どもに元気を吸われていた学生時代。今は子どもたちとの関わり、思い出が原動力。今年の夏もたくさんの元気をありがとう！



大友 あかね（にゃんちゅう）

かつてのキャンプ参加者が学生アシスタントとして大活躍。終了後、今夏の参加者から「大きくなったらアシスタントになるね」とお手紙が。輪才！



黒澤 菜々花（とんとん）

走り抜けた夏。暴食にも走った夏。キャンプ中、純粋な目をした子どもに「どこから見ても顔が丸いよ！」と二度言われました。食欲の秋がやってきます。



石川 順子（じゅんこさん）

千葉豪雨。都心にいたため居住地レベル5 警報発令を間抜けなことに家族や知人からの LINE で知る。瞬時の判断が難しく身の危険を感じたできごとであった。

やまぼうし自然学校の
詳細・最新情報はこちらから



発行：NPO 法人やまぼうし自然学校

〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751

Tel:0268-74-2735 Fax:0268-74-2795 E-mail:contact@yamaboushi.org

ニュースレター2026 夏号（2026 年 9 月 18 日発行）